

# ゼロカーボンアクション

今日から  
はじめてみよう

2050年までにカーボンニュートラル※を目指しましょう。  
学校やおうちでの生活の中で、できることから取り組もう。

※二酸化炭素(にさんかたんそ)をはじめとする温室こうかガスの「はい出量」から植林、森林管理などによる「吸収量」を差し引いて、全体としてゼロにするものです。

## 節電しよう

学校で



明るさが足りているときは教室のまどがわのライトは消しましょう。トイレのライトは必要なときだけ使い、使わないときはこまめにスイッチを切りましょう。スイッチに「節電」シールをはるなど、みんなで「節電」について取り組みましょう。

## 地産地消を心がけよう

おうちで



地産地消(ちさんちしょう)とは地元の農家さんが育てたものを地元で食べることをいいます。地元で育てたものを食べるので、運ぶ時に出るはい出ガスも少なく、しんせんで安全・安心です。

## 友達と話そう

学校で



ゼロカーボンアクションは、地球温だん化からわたしたちの住んでいる地いきのゆたかな自然かんきょうを守ることにつながります。今からできることについて、ぜひ家族や友達と話し合い、みんなでゼロカーボンアクションにチャレンジしてみましよう!

## 長く着られる服をえらぼう

おうちで



服は、作られてからすてるまでの間、たくさんの二酸化炭素(にさんかたんそ)が出されます。同じ服を長く着れば、出される二酸化炭素(にさんかたんそ)は少なくなります。長く着られるじょうぶな服を選んだり、はやりにならぬ服選びが大切です。

## 食べ物を食べ残さない

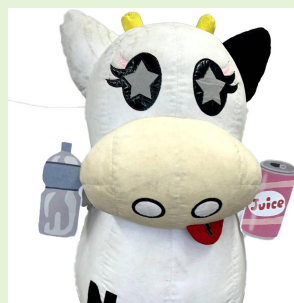
学校で



まだ食べられるのにすてられてしまう食品を「食品ロス」といいます。すてられた食品は、ごみとしてもやされることで二酸化炭素(にさんかたんそ)が発生します。食品ロスは、給食においてもふせぐことができます。食べられる分だけ取り、食べ残しゼロを目指しましょう。

## ごみを分別しよう

おうちで



ごみの中にはもう一度しげんとして使えるものがたくさんあります。ペットボトルやビン、カン、紙類などもしげんごみとして出すことができます。ごみの分別方法は住んでいる場所によってちがうので、おうちの人とかくにんしてみましよう。

# 考えてみよう！ クイズに挑戦せん！

1

夏の冷ぼうの目安は28℃です。  
では、冬の室温せつていの目安は何℃でしょう  
か？

- 1 30℃
- 2 25℃
- 3 20℃



答

3 20℃

かんきょう省がおすすめする冬の室温せつていの目安は「20℃」です。だんぼう時のせつてい温度を1℃下げるだけでも、約10%もの消ひ電力がさくげんされます。さらには、二酸化炭素(にさんかたんそ)のはい出量もさくげんされ、地球温だん化ぼう止につながります。



2

日本のペットボトルのリサイクルリつはどのくらい  
でしょうか？

- 1 約20%
- 2 約50%
- 3 約80%



答

3 約80%

日本のペットボトルのはん売本数は2023年度で250億本ほどです。ペットボトルのリサイクルリつは国内と海外でさいしげん化されたものを合わせると86.9%になります。リサイクルしやすくするためにペットボトルの中身を水ですすぎ、キャップとラベルを外してすてましょう。



3

まだ食べられるのにすてられてしまう食品を「食品ロス」といいますが、国民一人当たり毎日発生する食品ロスの量は次のうちどれでしょう？

- 1 おにぎり半分
- 2 おにぎり1こ分
- 3 おにぎり3こ分



答

2 おにぎり1こ分

日本では令和3年度に、約523万トンの食品ロスが発生しており、国民一人当たり毎日約114グラム(おにぎり1こ分)の食品ロスが発生しています。食品ロスをへらす3つのコツは「買いすぎない・作りすぎない・食べ残さない」です。この3つのコツを学校やおうちでもいしきしてやってみましょう。

